

平成19年度水産研究発表会に関するアンケート調査の集計(第13回水産研究発表会)

1 ヒラメの放流効果調査

(1) 良く分かった=20 (2) 普通=23 (3) 分かりにくい=3 無記入=2

自由意見

- ・最終結果報告に期待したい。
- ・場所ごとにとれた分布図及び放流分布図でわかれば?
- ・今後も放流を実施してほしい。
- ・費用対策を数値で示し興味深い。
- ・放流魚の産卵による資源増大効果にも触れたらよかったと思う(放流の意義を認めてもらうために)
- ・費用対策効果の算出法をもう少し詳しく示していただきたいかった。
- ・個人的にも標識が目で見えると少しは気にかかるようになるのでは。

2 大型の群体をつくるタラシオシーラ

(1) 良く分かった=14 (2) 普通=28 (3) 分かりにくい=6 無記入=0

自由意見

- ・タラシオシーラがユーカンピアかコシノディスカスのレベルではどのくらい?
- ・ユーカンピア1個に対してタラシオシーラ?個(密度)又は?群体
- ・個々の個数が分かってても分かりにくいので、色落ち注意レベル表などを作ってみたらどうか?
- ・対策等の話をもっと詳しくしてほしい。
- ・研究手法の開発の見地からの発表でおもしろかった。
- ・大発生によるノリ漁業への影響を知りたかった。
- ・タラシオシーラ群体の細胞数が示されたのは大変参考になった。
- ・今期のタラシオの発生は兵庫県海域が強調されていたが、香川県海域でも大規模な発生があったことについて、認識を新たにした。
- ・分布図(タラシオ)が小さくて、良く読めなかった。

3 平成19年度ノリ漁期の海況

(1) 良く分かった=8 (2) 普通=28 (3) 分かりにくい=10 無記入=2

自由意見

- ・秋の上下混合の時期は、水温・塩分等が何度くらいがおこりやすいか?
- ・本年度の海域の水質等の状況が良くわかった。
- ・説明したいことをもう少し整理して。
- ・まとまりがやや悪い、ことばがわかりにくい。
- ・ポイントを絞って説明する方が、一般の人にはわかりやすかったと思う。
- ・一般からの参加者がいることを考えると各調査項目が何の目安となるのかを説明した方が良い。
- ・雨が少なかったので栄養塩も少なかったようです。

4 平成19年度ノリ養殖状況

(1) 良く分かった=32 (2) 普通=14 (3) 分かりにくい=0 無記入=2

自由意見

- ・本年度の厳しい状況が改めて認識した。
- ・資料の選び方がよかった、図もわかりやすい。
- ・藤原さん、説明上手ですね。
- ・話がわかりやすく、データも大変手際よくまとめられていて、大変良い発表だった。
- ・経済的な栄養塩の傾向を示した図は大変貴重なものと思われる、原因の特定が今後の課題。
- ・降水量とノリ生産量の関係の指摘は貴重、今後の対策に生かせるのではないか?

5 ノリ養殖施肥試験

(1) 良く分かった=30 (2) 普通=12 (3) 分かりにくい=0 無記入=6

自由意見

- ・瀬戸内海の施肥の難しさを痛感した、もっと海域を限定せざるを得ないのでしょうか。
- ・施肥を行うタイミング時期は、栄養塩レベルで行うのか?年明けから行った方がよいか?
- ・施肥をすべきかどうか選択が困難である。
- ・研究を進めてほしい。

・ノリ養殖で「施肥」は大きな問題だが、科学的な取り組みが重要、その意味で意義深い。

◎ 試験研究を効率的に推進するために、特に重要と思われる研究テーマは？

①=5 ②=3 ③=10 ④=9 ⑤=2 ⑥=5

自由意見

・漁場環境の保全とともに、栽培漁業とリンクした沿岸資源の総合的な管理に関する試験研究が重要になると思います。

・ノリの色落ち対策について、今後もっと技術開発を。

・塩素水の緩和、栄養塩の増加対策

・①～⑥どの課題も重要です。その年のタイムリーな課題を発表すれば良いと思うが、時間をもう一時間長くとり、もう少し詳しく発表してはどうか。

◎ その他水産に関する、ご意見・要望や感想

・タラシオシーラの研究を来年、再来年と続けて下さい。来年、ノリ養殖をしているかどうか分かりません。どうもありがとうございました。

・Power Pointを使うとプレゼンテーションには非常に便利ですが、次々進んでしまうためメモを取る時間がなくなってしまう。資料の他に今回のプレゼンの画像を印刷したものを添付していただくと、メモ書きする時間も少なくすみ、話についていくことができると思います。できれば、今回のPower Point画像を印刷していただけたらと思います。

・生産性の高い海づくりを県は真面目に考えていただきたい。

・県内の陸からの栄養塩の流入に関し、例えばノリ養殖に合わせてため池の水抜き(床干し)を呼びかけたり、発生負債量(total)を増やさず何ができるのかを考えることも大切だと考える。これからも、多分野の組織が連携していくことが大切だと思う。また、瀬戸内海の大切さについて漁業以外(航路・レジャー・風景等)の面についても漁業者にもっと理解してもらうことも重要ではないかと感じる。

・約15分の発表時間だが、あまり時間にしばられずに発表して欲しい。

・水産教室(食育をからめて)子供たち、親などに勉強してもらおう場としての活用。

・他の放流漁の調査もお願いします。

・豊かな海にして下さい。

[トピックスに戻る](#)